

平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月8日

上場会社名 日本フォームサービス株式会社
 コード番号 7869 URL <http://www.forvice.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長代理
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山下 岳英
 (氏名) 小坂 嘉彦

上場取引所 東
 TEL 03-3636-0011

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	1,971	12.8	90	3.2	111	△2.8	63	△44.6
26年9月期第2四半期	1,747	△26.8	88	△11.4	115	△4.2	115	78.5

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 65百万円 (△43.9%) 26年9月期第2四半期 116百万円 (73.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	16.04	—
26年9月期第2四半期	28.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第2四半期	5,155	3,104	60.2
26年9月期	4,999	3,059	61.2

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 3,104百万円 26年9月期 3,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,123	14.3	176	57.7	206	35.3	90	4.7	22.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期2Q	4,020,000 株	26年9月期	4,020,000 株
27年9月期2Q	36,712 株	26年9月期	36,299 株
27年9月期2Q	3,983,406 株	26年9月期2Q	3,984,919 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府および日銀の経済・金融政策等や原油価格の下落の影響を背景に、企業収益・雇用情勢は緩やかな回復基調にて推移したものの、円安による原材料の価格高騰および消費税増税による個人消費の低迷の長期化により、依然企業を取り巻く環境は先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループの売上高は19億7千1百万円（前年同期比12.8%増）、営業利益9千万円（前年同期比3.2%増）、経常利益は1億1千1百万円（前年同期比2.8%減）、四半期純利益は法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額を4千7百万円計上したことから、6千3百万円の四半期純利益（前年同期比44.6%減）となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

当社グループの主力であります函物及び機械設備関連事業におきましては、新製品の投入がおくれているものの、19インチラックにおいては高付加価値製品の拡販及び官庁関係からのまとまった受注獲得、アーム関連製品については医療機器メーカーに対応するカスタム製品の拡販およびマルチ関連製品として金具・スタンドの販売強化を行うことで順調に売上を確保することができております。また、再生エネルギー関連製品においては、大口案件の受注やメンテナンス請負、洗浄機器の引き合い等の受注を多く受けることができたことから、予定通りの売上高を確保できております。その結果、売上高は16億5千3百万円（前年同期比15.7%増）となり順調に推移いたしました。

利益面につきましては、再生エネルギー関連製品においては薄利ではあるものの、継続して高騰する原材料費の見直しや生産効率の向上、諸経費等のコスト削減に取り組んでまいりました。原価率のよいラック製品およびアーム関連製品を拡販することにより、売上総利益が確保できております。以上のことから、セグメント利益（経常利益）は1億3千7百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

一方、介護関連事業におきましては、国内の高齢化が進むことにより、介護サービスの需要はさらに高まっております。その一方で、各介護事業者に対して法令遵守を徹底した経営が求められるとともに、介護福祉士等有資格者の人材確保が依然として困難な状況が続くなど、厳しい経営環境となっております。

このような状況の下、当社グループの在宅介護サービスにおきましては、訪問看護および居宅介護支援の稼働率が上がってはいるものの、通所介護および訪問入浴介護のサービスにおいて利用者の減少および利用者単価が下がったことにより、売上高は2億2千9百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

また、地域密着型介護サービスにおける小規模多機能型居宅介護において、利用者単金は上がってはいるものの、利用者が減少したことの影響が大きく、知症対応型共同生活介護は居室稼働率が上昇してはおりますが、売上高は8千8百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

以上の結果、介護関連事業（在宅介護サービス及び地域密着型介護サービス）における売上高は3億1千7百万円（前年同期比0.2%減）となりました。利益面に関しては、売上高は減少したものの、コスト削減および新規サービス拠点の開設により見込んでいました初期投資費用が掛からなかったこと。また、サービスの充実および新規事業を見据えた人材の新規採用を行った結果、セグメント損失（経常損失）は2千5百万円となり、前年同期比で5百万円の改善がなされました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産の合計は、51億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億5千5百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が2千4百万円、受取手形及び売掛金が2千3百万円及び有形固定資産が7千8百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、20億5千万円となり、前連結会計年度末に比べて1億1千万円増加いたしました。主な要因は、買掛金が1億9千4百万円増加したことに対し、長期借入金が8千4百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産の合計は、31億4百万円となり、前連結会計年度末に比べて4千5百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益（純資産の増加）が6千3百万円あったことに対し、剰余金の配当（純資産の減少）が1千9百万円あったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ8百万円減少し2億7千9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2億5千4百万円（前年同四半期は1億7千万円の収入）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が1億1千1百万円および仕入債務の増加が1億9千4百万円あったことに対して、売上債権の増加が9千万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億7千6百万円（前年同四半期は1千2百万円の支出）となりました。これは主として、定期預金の預入が1億5千6百万円、有形固定資産の取得が1億6千万円あったことに対して、定期預金の払戻しが1億2千9百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、8千6百万円（前年同四半期は1億4千万円の収入）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が1億4百万円、配当金の支払額が1千9百万円あったことに対して、短期借入金の純増額が5千5百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年11月13日公表の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	518,817	543,217
受取手形及び売掛金	759,328	849,354
商品及び製品	71,294	51,935
仕掛品	36,229	31,469
原材料	156,201	152,409
繰延税金資産	18,560	19,391
その他	22,836	22,005
貸倒引当金	△250	△250
流動資産合計	1,583,019	1,669,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	748,582	732,940
機械装置及び運搬具(純額)	188,925	178,562
土地	2,204,541	2,197,349
リース資産(純額)	148,152	125,512
その他(純額)	9,443	143,432
有形固定資産合計	3,299,646	3,377,797
無形固定資産	10,348	9,248
投資その他の資産		
投資有価証券	25,705	28,779
その他	80,971	70,070
投資その他の資産合計	106,677	98,849
固定資産合計	3,416,672	3,485,895
資産合計	4,999,692	5,155,430

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	180,624	375,575
短期借入金	659,000	714,000
1年内返済予定の長期借入金	209,160	189,160
リース債務	32,974	23,417
未払法人税等	61,539	53,640
賞与引当金	24,300	25,675
その他	223,423	216,108
流動負債合計	1,391,022	1,597,577
固定負債		
長期借入金	226,239	141,659
リース債務	126,511	113,079
役員退職慰労引当金	104,916	106,941
繰延税金負債	52,864	57,617
長期未払金	37,089	32,186
その他	1,520	1,520
固定負債合計	549,140	453,004
負債合計	1,940,162	2,050,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	395,950	395,950
資本剰余金	230,000	230,000
利益剰余金	2,444,421	2,488,386
自己株式	△15,130	△15,240
株主資本合計	3,055,240	3,099,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,288	5,751
その他の包括利益累計額合計	4,288	5,751
純資産合計	3,059,529	3,104,848
負債純資産合計	4,999,692	5,155,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,747,047	1,971,446
売上原価	1,232,760	1,437,615
売上総利益	514,286	533,830
販売費及び一般管理費	426,210	442,892
営業利益	88,076	90,937
営業外収益		
受取利息	46	66
受取配当金	200	245
補助金収入	20,693	16,349
その他	16,194	12,742
営業外収益合計	37,135	29,403
営業外費用		
支払利息	7,936	6,752
支払手数料	945	577
手形売却損	1,187	881
その他	48	312
営業外費用合計	10,118	8,524
経常利益	115,093	111,817
特別利益		
固定資産売却益	90,193	-
特別利益合計	90,193	-
特別損失		
固定資産除却損	-	1
特別損失合計	-	1
税金等調整前四半期純利益	205,286	111,816
法人税、住民税及び事業税	78,187	44,820
法人税等調整額	11,762	3,112
法人税等合計	89,949	47,932
少数株主損益調整前四半期純利益	115,337	63,883
四半期純利益	115,337	63,883

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	115,337	63,883
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1,069	1,463
その他の包括利益合計	1,069	1,463
四半期包括利益	116,406	65,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,406	65,346

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	205,286	111,816
減価償却費	76,493	56,547
固定資産売却損益(△は益)	△90,193	-
固定資産除却損	-	1
受取利息及び受取配当金	△246	△311
支払利息	7,936	6,752
為替差損益(△は益)	△79	△16
売上債権の増減額(△は増加)	△128,275	△90,025
たな卸資産の増減額(△は増加)	14,709	27,910
仕入債務の増減額(△は減少)	108,899	194,951
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△24,266	2,025
その他	34,264	3,744
小計	204,529	313,393
利息及び配当金の受取額	246	311
利息の支払額	△7,936	△6,752
法人税等の支払額	△26,006	△52,718
営業活動によるキャッシュ・フロー	170,833	254,233
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△144,469	△156,469
定期預金の払戻による収入	123,444	129,437
有形固定資産の取得による支出	△52,334	△160,918
有形固定資産の売却による収入	101,050	7,192
無形固定資産の取得による支出	△1,608	-
投資有価証券の取得による支出	△780	△801
保険積立金の積立による支出	-	△448
保険積立金の解約による収入	8,114	-
子会社株式の取得による支出	△50,000	-
その他	3,869	5,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,713	△176,677
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,000	55,000
長期借入金の返済による支出	△49,180	△104,580
長期借入れによる収入	250,000	-
自己株式の取得による支出	△502	△109
リース債務の返済による支出	△29,930	△16,758
配当金の支払額	△19,816	△19,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	140,570	△86,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	79	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	298,769	△8,652
現金及び現金同等物の期首残高	31,117	288,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	329,886	279,895

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額 (注)
	函物及び機械 設備関連事業	介護関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,429,040	318,006	1,747,047
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,429,040	318,006	1,747,047
セグメント利益又は損失(△)	146,565	△31,472	115,093

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額 (注)
	函物及び機械 設備関連事業	介護関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,653,942	317,503	1,971,446
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,653,942	317,503	1,971,446
セグメント利益又は損失(△)	137,403	△25,585	111,817

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。